



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング
 コード番号 6149 URL <http://www.odawara-eng.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼管理部長 (氏名) 保科 雅彦 (TEL) 0465-83-1122
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	8,067	11.2	645	58.0	654	37.6	545	89.9
27年12月期第3四半期	7,252	21.1	408	—	475	—	287	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 505百万円 (64.6%) 27年12月期第3四半期 307百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	98.42	—
27年12月期第3四半期	54.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	12,746	9,183	72.0
27年12月期	12,380	8,777	67.0

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 9,183百万円 27年12月期 8,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年12月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当 8円00銭
 28年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.6	600	△6.6	750	4.5	600	74.3	106.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期3Q	6,392,736株	27年12月期	6,392,736株
28年12月期3Q	544,644株	27年12月期	1,088,872株
28年12月期3Q	5,546,350株	27年12月期3Q	5,303,969株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や輸出などは横ばいとなり、企業の業況判断は一部に慎重さがみられるなど弱さもみられるが、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きました。

一方世界経済は、中国では景気が緩やかに減速していたものの持ち直しの動きがみられ、米国では景気は回復が続き、欧州では景気は緩やかに回復し、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開した結果、売上高は8,067百万円(前年同四半期比11.2%増)となり、利益面につきましては、営業利益は645百万円(前年同四半期比58.0%増)、経常利益は654百万円(前年同四半期比37.6%増)、当社持分法適用関連会社であったRSインベストメント株式会社の清算終了などに伴う特別利益114百万円の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は545百万円(前年同四半期比89.9%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

①巻線機事業

巻線機事業に関しては、自動車、家電向けの大型案件が順調に推移し、売上高は4,901百万円(前年同四半期比15.9%増)、原価低減が図られた結果、セグメント利益は624百万円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

②送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、全体として受注は安定しているものの、照明器具等が順調な一方で軸流ファンが低迷という傾向が続いており、売上高は2,921百万円(前年同四半期比2.7%減)、原価低減を図りましたがその効果は限定的であり、セグメント損失は16百万円(前年同四半期は22百万円のセグメント損失)となりました。

③その他

企業再生支援事業により、売上高は245百万円(前年同四半期比1,107.9%増)、セグメント利益は244百万円(前年同四半期比1,282.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、8,849百万円となりました。これは主に、現金及び預金が843百万円、受取手形及び売掛金が127百万円、仕掛品が488百万円それぞれ増加し、電子記録債権が215百万円、営業投資有価証券が164百万円、商品及び製品が506百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、3,897百万円となりました。これは主に、投資有価証券が110百万円減少したこと等によるものであります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、12,746百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、3,123百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が455百万円、賞与引当金が106百万円それぞれ増加し、短期借入金が130百万円、前受金が379百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、440百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、3,563百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、9,183百万円となりました。これは主に、資本剰余金が205百万円、利益剰余金が400百万円それぞれ増加し、株式交換により自己株式が379百万円、非支配株主持分が486百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成28年8月10日に公表した業績予想に変更はありません。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は205百万円減少しております。また、当第3
四半期連結会計期間末の資本剰余金が205百万円増加しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報
告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設
備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,132,349	2,976,072
受取手形及び売掛金	2,330,837	2,458,285
電子記録債権	725,129	510,111
営業投資有価証券	164,128	—
商品及び製品	1,057,859	551,505
仕掛品	1,057,820	1,545,903
原材料及び貯蔵品	491,944	465,412
繰延税金資産	167,919	198,868
その他	167,703	144,622
貸倒引当金	△1,645	△1,519
流動資産合計	8,294,046	8,849,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,898,076	2,876,750
減価償却累計額	△1,583,256	△1,637,723
建物及び構築物(純額)	1,314,819	1,239,027
機械装置及び運搬具	1,070,859	1,069,191
減価償却累計額	△900,155	△875,129
機械装置及び運搬具(純額)	170,703	194,062
工具、器具及び備品	1,047,350	1,056,226
減価償却累計額	△908,021	△930,674
工具、器具及び備品(純額)	139,328	125,552
土地	1,612,416	1,605,746
建設仮勘定	9,340	4,846
有形固定資産合計	3,246,609	3,169,234
無形固定資産		
ソフトウェア	65,350	68,836
電話加入権	3,043	3,043
その他	181	169
無形固定資産合計	68,575	72,049
投資その他の資産		
投資有価証券	462,078	351,256
破産更生債権等	0	0
退職給付に係る資産	275,728	275,708
その他	33,486	29,330
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	771,293	656,295
固定資産合計	4,086,478	3,897,580
資産合計	12,380,525	12,746,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,178,879	1,634,264
短期借入金	270,000	140,000
未払金	275,954	185,968
未払法人税等	71,870	130,580
前受金	1,069,867	690,092
賞与引当金	57,789	164,107
アフターサービス引当金	86,061	97,726
受注損失引当金	2,606	—
その他	135,487	80,976
流動負債合計	3,148,516	3,123,716
固定負債		
繰延税金負債	129,362	102,983
役員退職慰労引当金	94,770	109,561
退職給付に係る負債	173,521	178,497
資産除去債務	33,385	33,614
その他	23,292	15,443
固定負債合計	454,332	440,101
負債合計	3,602,848	3,563,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,786,154
利益剰余金	6,207,097	6,607,362
自己株式	△760,346	△380,613
株主資本合計	8,278,380	9,263,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123,386	95,577
繰延ヘッジ損益	266	172
為替換算調整勘定	△110,724	△176,444
その他の包括利益累計額合計	12,928	△80,694
非支配株主持分	486,367	—
純資産合計	8,777,676	9,183,025
負債純資産合計	12,380,525	12,746,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,252,817	8,067,850
売上原価	5,578,793	6,054,459
売上総利益	1,674,023	2,013,390
販売費及び一般管理費	1,265,754	1,368,359
営業利益	408,269	645,031
営業外収益		
受取利息	5,626	2,004
受取配当金	54,074	92,584
その他	31,266	28,824
営業外収益合計	90,967	123,413
営業外費用		
支払利息	1,083	805
支払手数料	—	30,018
為替差損	10,709	78,884
減価償却費	4,989	4,182
持分法による投資損失	3,422	—
その他	3,366	36
営業外費用合計	23,571	113,927
経常利益	475,665	654,517
特別利益		
固定資産売却益	11	764
投資有価証券売却益	81,836	—
投資有価証券清算益	—	11,175
関係会社清算益	—	102,546
特別利益合計	81,848	114,486
特別損失		
固定資産除売却損	728	44
減損損失	—	1,785
厚生年金基金脱退損失	134,149	—
特別損失合計	134,877	1,830
税金等調整前四半期純利益	422,636	767,173
法人税、住民税及び事業税	63,805	202,430
法人税等調整額	78,327	△38,064
法人税等合計	142,132	164,366
四半期純利益	280,503	602,806
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,861	56,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,364	545,846

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	280,503	602,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,253	△34,134
繰延ヘッジ損益	730	△93
為替換算調整勘定	36,361	△62,738
その他の包括利益合計	26,839	△96,966
四半期包括利益	307,343	505,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,042	452,223
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,698	53,615

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,230,725	3,001,790	7,232,516	20,301	7,252,817	—	7,252,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	490	490	—	490	△490	—
計	4,230,725	3,002,281	7,233,007	20,301	7,253,308	△490	7,252,817
セグメント利益 又は損失(△)	595,535	△22,753	572,782	17,698	590,480	△182,210	408,269

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△182,210千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,901,426	2,921,205	7,822,632	245,218	8,067,850	—	8,067,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	409	409	—	409	△409	—
計	4,901,426	2,921,614	7,823,041	245,218	8,068,259	△409	8,067,850
セグメント利益 又は損失(△)	624,096	△16,739	607,357	244,689	852,047	△207,015	645,031

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△207,015千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、「企業再生支援事業」を構成していた匿名組合より出資金が返還されたことにより、前連結会計年度末日に比べ、「企業再生支援事業」のセグメント資産が、164,128千円減少しております。